古都っ子だより
令和６年１月３１日
岡山市立古都小学校
≪心豊かにたくましく生きる児童の育成≫ 元気な子　やさしい子　考える子

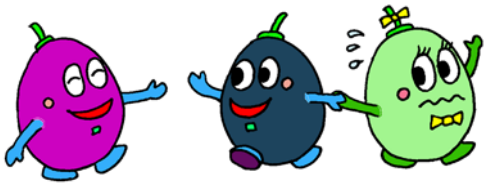
魔法の言葉　さしすせそ！

２学期，グレープクラブ（学童クラブ）から，学校に「一輪車，竹馬などの遊具を設置させてほしい」という申し入れがあり，二つ返事で受け入れました。遊具を使って子どもたちが元気に遊ぶ様子を見に行くと，一輪車で遊んでいた１年生が「校長先生乗れる？」と聞いてきました。「昔，練習して乗れたんよ。」と小さな一輪車を貸してもらって跨りますが，フェンスをつかんでも漕ぐことすらできません。かつて「乗れた」とはいえ「行先は一輪車に聞いて～！」というレベルだったのでしかたありません。「乗り方忘れたあ。」と不出来をごまかしていると「繰り返し続けたらいいよ。練習するの**す**ごいね。」と励ましの言葉をかけられました。いい大人が気恥ずかしいのですが，アドバイスする子の表情は真剣。（それ以来，時々一輪車に跨っています。でも，やはり乗れない．．．。）

遊びだけでなく「もっとできるようになりたい」と願う子どもたちの姿はいたるところで目にします。「50m を速く走りたい」「なわとびを上手くとびたい」など運動のめあて，「漢字テストで 100 点」「大きな声ではっきり音読」といった学習のめあて，「家の仕事を手伝う」「班長として責任をもつ」などの生活のめあて等，今よりさらに一歩進んだ自分，高みをめざす自分を実現しようとがんばる姿です。前向きな子どもたちを目にしたとき，私たちはどんな言葉かけをしているでしょうか。

そうした場面では「**さ**すが」「**じ**ょうず」「**す**ばらしい」「**せ**い長したなあ」「**そ**の通り」などの肯定的な言葉をよく口にするのではないでしょうか。一輪車に跨る自分にかけられた「**す**ごい」という言葉も真っ先に思いつく言葉です。私が昨年拝聴した講演会で，講師（岡山で創業されたある企業経営者）から，「魔法の言葉　**さしすせそ**」の効果についてのお話を伺いました。「さしすせそ」の言葉では，

- ○　相手にやさしくなる
- ○　努力，継続が大切という価値観を育くまれる
- ○　受容されることで信頼関係が深まる
- ○　自信が深まり，積極性が増す



といった効果を生み出すことが知られているという内容でした。

大人でもそうですから，子どもたちにあてはめれば言わずもがなの効き目になることでしょう。ただ「テストが 100 点」「マラソンで１位」といった結果だけにこだわって評価すると，大人でも子どもでも「より高い自分をめざそうとする」姿勢にはつながらないことも強調されました。目標に届かなかったとき，結果だけを評価された人は「失敗した自分はダメである」と強く意識してしまうからです。

「マラソン，１３周走ったよ。」「そりゃ**す**ごい。がんばってるねえ。」「家の手伝いで洗濯ものをたたみます。」「**せ**い長したなあ。家の人もみんな喜ぶよ。」「先生，どうしたら習字がうまくなりますか？」「**さ**すが！やる気がうれしいねえ。」最近，学校で実際に子どもたちと交わした会話です。話の後で子どもたちがさらにやる気をみなぎらせてがんばる姿に，ちょっとしたやり取りが子どもたちとの間で好循環を生み出すことを実感しました。「魔法の言葉　偉大なり！」

子どもたちの姿をじっくりと見ているといろいろな発見があります。そこから，前向きな気持ちを汲み取って支えていくことができる大人でありたいと思います。　（校長　石井　聡）

【２月の参観日・学級懇談会について】

２月の参観日と学級懇談会を実施します。５校時終了後，全学年とも児童は下校します。１～３年生の希望者（グレープクラブ以外）は懇談中に図書館でお預かりします。配付した申し込み用紙に希望を書いて，各学級担任までご提出ください。今年度最後の懇談となります。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

↑ 参観日案内はこちらから

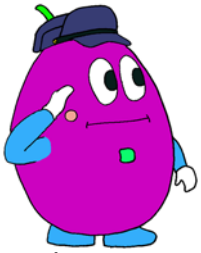
日時：令和６年２月２０日（火）　場所：各学年教室（６年は体育館）
日程：授業参観　１４：００～１４：４５　※　１～６年下校１５時頃
　　学級懇談　１５：００～１５：４０

※　１月２０日配付「参観日・学級懇談会について（お知らせ）」をご覧ください。
→　http://www.city-okayama.ed.jp/~kozus/info/2024_01_202gatsusankanbi.pdf

【スクールカウンセラー来校日時変更のお知らせ】

２月のスクールカウンセラーの来校日時を以下のように変更します。
２月２０日（火）１１：００～１４：３０　→　**２月２９日（木）１３：１５～１６：４５**

【県警から，岡山フルーツポリス・ティッシュのプレゼント】


ピオちゃん

岡山県警の生活安全課の方から古都っ子たちにプレゼントをいただきました。非行防止のため活躍するＯＦＰ（おかやまフルーツポリス）の３人が載ったポケットティッシュです。先日，１年生が代表していただきました。「大切なきまりを守り，元気に生活してください。」というあいさつにとてもよい返事で応えていました。岡山フルーツポリスは，ネット・ニュースでも紹介されています。

いただいたティッシュ，図柄は３種類

【地域行事を楽しもう！クロスカントリー大会＆ふるさとカルタとり大会！】

ゴールをめざして走る，走る！

１２月２４日（日），第２回「古都クロスカントリー世界大会２０２３」が開催され，園児から大人まで約３０人のランナーが古都小より岡谷八幡宮までのコースを駆け抜けました。見守りランナー，スタッフ等多くの方が子どもたちのがんばりを支えてくださいました。八幡宮のある丘からは古都学区の眺めが抜群です。レース後は栄養改善委員の方々の豚汁がふるまわれ心も体も暖まりました。

また，１月２１日（日）は，古都コミュニティーハウスで「古都ふるさとカルタとり大会」があり，２４人の参加者が大会に臨みました。かなり練習をしている人もいて，読み札を読んだ瞬間にすばやく取り合う姿が見られ，大人も子どもも真剣勝負でカルタに向き合っていました。栄養改善委員の方からは温かいうどんの炊き出しがあり，参加した皆さんに大好評でした。

カルタを囲んで，真剣勝負！

岡山市の「岡山っ子育成条例」では，「自立する子ども」を育てる地域社会の行動指針として「地域行事の活性化」「地域行事への参加」「異世代交流」の推進が示されています。近年コロナ禍の中断で，地域行事の伝承が途切れ，参加者が集まりにくくなる状況が各地で続きますが，古都学区は「連合町内会」の方々をはじめ地域の皆様の思いを力に，行事が復活，発展しているのはすばらしいことだと考えます。「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に，多くの方々がこうした活動にご参加いただける状況が盛んになることを願ってやみません。

裏面に続く